

2026 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 ククレブ・アドバイザーズ株式会社
代 表 者 名 代表取締役 宮寺 之裕
(コード番号：276A 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役執行役員 コーポレート本部長 玉川 和信
(TEL 03-6272-8642)

監査等委員会設置会社への移行および役員人事に関するお知らせ

当社は、2026 年 10 月 15 日開催の取締役会において、2026 年 11 月 27 日開催予定の第 8 期定時株主総会における承認を条件として、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行することを決議いたしました。あわせて、移行後の役員体制について、同定時株主総会に付議する取締役候補者を決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 監査等委員会設置会社への移行の目的

当社は、中長期的な企業価値向上および将来的なプライム市場への移行を見据え、コーポレート・ガバナンス体制の更なる強化に取り組んでおります。

今回の移行により、監査等委員である取締役が取締役会の構成員として議決権を持ち、業務執行に対する監査・監督機能を担うことで、取締役会の実効性向上を図ります。あわせて、業務執行への適切な権限委譲を進めることで、意思決定の迅速化と経営監督機能の強化を両立し、持続的な成長を支える経営基盤の構築を目指してまいります。

2. 監査等委員会設置会社への移行時期

2026 年 11 月 27 日開催予定の第 8 期定時株主総会において、必要な定款変更等についてご承認いただくことを条件として、監査等委員会設置会社へ移行する予定です。

3. 移行後の役員体制（2026 年 11 月 27 日付予定）

第 8 期定時株主総会において、定款変更および各候補者の選任に関する議案が原案どおり承認可決された場合の役員体制は、以下のとおりです。なお、監査等委員会設置会社への移行に伴い、現任取締役の任期は定款変更の効力発生時に満了するため、現任取締役についても改めて選任議案を付議いたします。また、現任監査役 3 名は、同時に任期満了により退任し、監査等委員である取締役に就任する予定です。

(1) 取締役（監査等委員である取締役を除く）候補者

代表取締役 宮寺 之裕（再任）
取締役 小室 仁（再任）
取締役 玉川 和信（再任）
社外取締役 高橋 崇晃（再任）
社外取締役 朴 信姫（新任）

(2) 監査等委員である取締役候補者

社外取締役（監査等委員） 岡崎 茂一（新任、現 当社社外監査役）
社外取締役（監査等委員） 川口 幸作（新任、現 当社社外監査役）
社外取締役（監査等委員） 鈴木 雅也（新任、現 当社社外監査役）

(3) 退任予定監査役

社外監査役 岡崎 茂一
社外監査役 川口 幸作
社外監査役 鈴木 雅也

(注) 高橋 崇晃、朴 信姫、岡崎 茂一、川口 幸作および鈴木 雅也の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役の候補者であります。

4. 新任社外取締役候補者について

当社は、監査等委員会設置会社への移行にあわせ、第8期定時株主総会に付議する取締役選任議案において、朴 信姫氏を新任の社外取締役（監査等委員である取締役を除く。）候補者とすることを決議いたしました。

同氏は、公認会計士としての高度な専門性に加え、大手監査法人、グローバルに事業を展開する複数の上場企業において、財務・経理、内部統制、内部監査及び経営管理全般に関する豊富な経験と幅広い識見を有しております。当社は、同氏がその専門的知見を活かし、取締役会の監督機能の強化及びコーポレート・ガバナンスの実効性向上に貢献いただけるものと判断し、候補者いたしました。

候補者氏名	朴 信姫（ぼく しんき）（新任・社外）
主な略歴	
1998年10月	監査法人トーマツ（現 有限責任監査法人トーマツ）入所
2002年10月	スターバックス コーヒー ジャパン株式会社入社
2011年12月	株式会社ファーストリテイリング入社
2015年8月	有限責任監査法人トーマツ入所
2016年9月	デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社（現 合同会社デロイト トーマツ）へ転籍
2017年10月	株式会社ミスミグループ本社入社
2024年7月	朴信姫公認会計士事務所 開業（現任）
2025年8月	株式会社リクリエ 入社 CFO
2026年2月	同社 CFO 兼 CHRO

（重要な兼職の状況）朴信姫公認会計士事務所 代表

（就任予定日）2026年11月27日

5. 代表取締役コメント

今回、朴 信姫氏を新たに社外取締役候補者としてお迎えできることを、大変心強く思っております。同氏は公認会計士として監査の最前線でキャリアを積んだ後、外資系を含むグローバル企業や大手上場企業にて、財務・経理、内部統制、内部監査、経営管理に携わってこられました。さらに近年は成長企業の CFO 業務も経験しており、専門的知見と事業会社における実務経験の双方を兼ね備えた方です。

企業不動産（CRE）に関する意思決定は、企業の財務戦略・経営戦略そのものです。当社が向き合うお客様である事業会社の経営層と同じ目線から、当社の事業やガバナンスに率直な提言をいただけることは、CRE プラットフォーマーを目指す当社にとって何よりの力になると考えております。また、多様なバックグラウンドを持つ同氏の参画により、取締役会の議論にこれまでにない視点が加わるものと期待しております。

今後も当社は、株主・投資家の皆さまの期待に応えるべく、成長戦略の推進とガバナンス強化の両輪で企業価値向上に取り組んでまいります。

以 上